

みなさまの中学校区の学校が、  
令和7年度より、「**小中一貫校**」となります！

- ただし、各小・中学校の統廃合はありません。
- 9年間の教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施します。
- 中学校区を単位とした地域の活性化による地域の教育力の強化が期待できます。

## ① 小中一貫教育の目的と期待されるメリット

### 1 目的

各中学校区の課題を解決すること

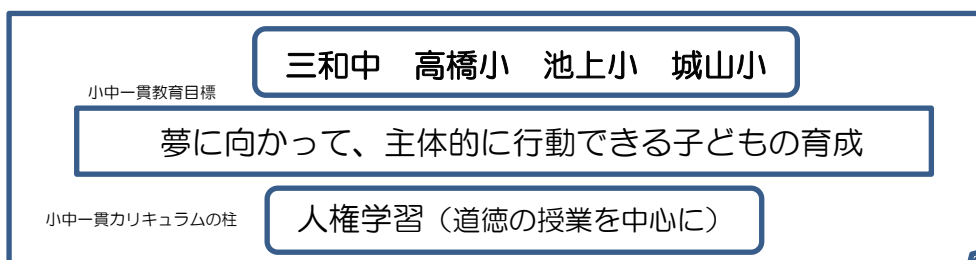
- (1) 幼児期から児童期のこどもの発達や学びの連続性を保障するために、体系的な教育を組織的に行うことで、こどもの状況を共有すること
- (2) こどもが多様な教職員、幼児・児童・生徒と関わる機会を増やすことで、小学校入学や中学校進学に対する不安感を軽減すること
- (3) 中学生が小学生との触れ合いを通じ、上級生である自らに自覚的となることで自尊感情を高め、生徒の暴力行為や不登校、いじめの解消につなげていくこと
- (4) 発達段階に応じた教育の違いを教職員同士が認めた上で互いに学び合い、幼児期から義務教育9年間でこどもを育てる発想を持つよう、教職員に対し促すことにより、つながりのある教育を実現すること 等

### 2 期待されるメリット

- (1) いわゆる「中1ギャップ」の緩和・小学生の中学校進学に対する不安感の軽減
- (2) 教育課程の編成・実施による指導の一貫性の確保
- (3) 小中学校間の教職員の意識改革
- (4) 学力向上・学習意欲の向上
- (5) 良好な人間関係の構築・不登校児童生徒の減少
- (6) 小規模校の弊害の解消 など

## ② 三和中学校区の「小中一貫教育目標」と「小中一貫カリキュラムの柱」

これまでの実践を生かしながら、学校・生徒・地域の実態に応じて、系統性・連続性を重視した小中一貫カリキュラムを作成しています。



### ③ 各中学校区の分類

＜熊本市の全中学校区の分類＞ 【青字はすでに小中一貫校、緑字はR6年度のモデル校】

	Aグループ（小1中1）	Bグループ（小複中1）	Cグループ（小複中複）
	<p>A中学校 校長 B小学校 校長 <b>5校区</b></p>	<p>A小学校 校長 C中学校 校長 B小学校 校長 <b>17校区</b></p>	<p>併設型小学校-中学校 併設型小学校-中学校 A小学校 校長 B小学校 校長 <b>20校区</b></p>
中央区	江南	江原	出水、白川、藤園、出水南、京陵、桜山、西山、竜南、帯山
東区	二岡	長嶺	湖東、東野、錦ヶ丘、東部、西原、桜木、東町
西区	河内、芳野	花陵、三和、城西	井芹
南区	富合	天明、城南、鮑田、力合、日吉、下城南	託麻
北区		楠、龍田、武蔵、鹿南、五霊、植木北	清水、北部
学校数合計	11	62	67
R7年度には、A・Bすべての中学校区が小中一貫校に			幼小中連携のさらなる充実

### ④ 熊本市の小中一貫校への移行について

Aグループは令和元年から、Bグループは令和4年度から小中一貫校へ順次移行しています。

グループ	年度	R3	R4	R5	R6	R7
Aグループ (小1中1)		小中一貫校（富合・芳野・河内・江南・二岡）				
Bグループ (小複中1)	モデル校		小中一貫校（江原）			
			小中一貫校（天明）			
	モデル校		.....	小中一貫校（植木北）		
	タブレット端末活用モデル校		.....	小中一貫校（楠）		
	モデル校 (下益城城南・城南 ・五霊・鹿南)		小中一貫校（下益城城南・城南・五霊・鹿南）			
	モデル校 (花陵・城西・鮑田 ・力合・日吉)		小中一貫校 (花陵・城西・鮑田・力合・日吉)			
	モデル校 (三和・武蔵 ・長嶺・龍田)		小中一貫校			

※ 校区は中学校区で記載

【担当】教育委員会事務局指導課  
TEL：096-328-2721